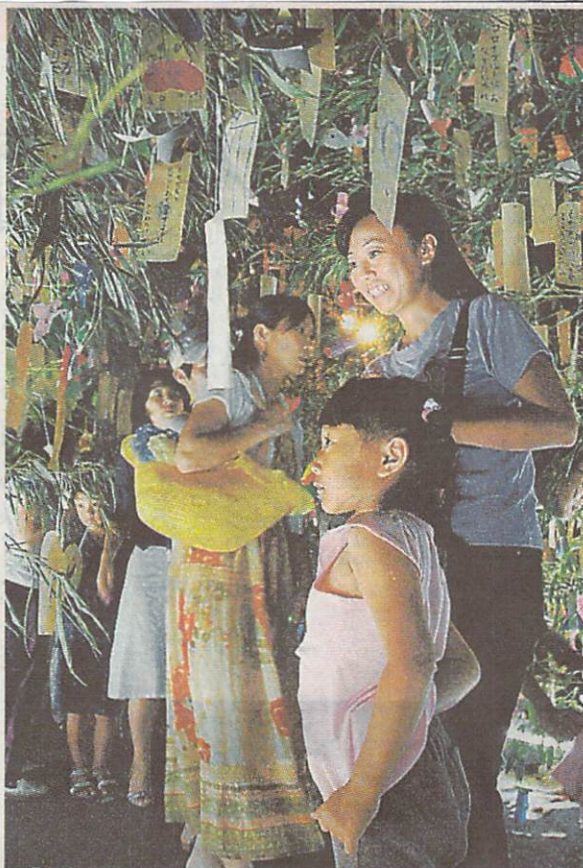


七夕の7日、山城地域の各地で七夕まつりの催しや行事が行われた。午後から黄梅の雨となる中、ササ飾りに彩られた会場では、大人も子どもも星への願いを込め、しばしの涼を楽しんだ。



午後8時前から始まったライトアップで照らされたササ飾りに見入る親子連れ  
(木津川市木津)

## 2000の願い事揺れる

### 木津川でライトアップ

○…木津川市では、勢の人でにぎわった。2年ぶりの七夕まつり。会場には地元住民に(実行委主催)が市役所よる出店が並び、威勢近くの旧市教育委員会の良い掛け声で客を呼ぶ跡などで開かれた。雨び込んでいた。特設ステージで発表。ステージでは、木津中吹奏楽部や地元ダンスの開始が1時間遅れた。ササ飾りのライトアップがあり、大ばいのパフォーマン

スを披露、観客を沸かせた。

出店とステージの間の私道には、市内の子ども約2千人分の短冊などで飾られたササのトンネルが登場。日暮れとともにライトアップされ、「じょうずにおよげますように」など書かれたかわいい願い事を見て、訪れた人が笑顔を浮かべた。

(笹井勇佑)

# 七夕輝く

2010年7月8日

京都新聞